

医療系重要テーマ

～小論・面接対策～

医

遺伝子診断と 遺伝子治療

遺伝子診断って??

DNAもしくはRNAを診断材料として、遺伝子の欠陥や転写異常を診断して体の状態や病気を診断する。

→遺伝子と関係する病気が分かる。(可能性なども)

→テーラメイド医療が行える
→一人一人にあった医療を提供する。

具体的に↓

- ①受精卵から細胞をとってくる
- ②胎児の絨毛をとってくる
- ③羊水を検査する
- ④母体血清マーカーテストを行う
- ⑤出生後に細胞を採取する

たくさん種類はあるが結局**遺伝子**の採取を行っている。

どうしてわかるの？

ある病気の人にはDNA(体の設計図のようなもの)のある部分がおかしい、あるいは欠損している。つまり、その部分のDNAを調べてあげるとその病気かどうか分かる

なにがわかるか？

・先天的遺伝病(ダウン症)などがわかる(可能性)

○あらかじめ準備ができる(出産時、生まれた後の心構え)

やじるし治療可能なものもある

×生み分けにつながってしまう(人工妊娠中絶)

→基本的に日本では中絶は認められていない

→例外はある。

～母体保護法第14条～

- 1) 妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれのあるもの
- 2) 暴行若しくは脅迫によって又は抵抗若しくは拒絶することができない間に姦淫されて妊娠したもの

→現実には”経済的理由”として人工妊娠中絶をしてしまう。

- ・リスク診断

糖尿病や癌などの病気のかかりやすさがわかる

→予防ができる

- ・確定診断

本当にその病気（遺伝病）であるかがわかる

問題点

遺伝情報の取り扱い

社会的差別につながる（保険・就職）

自分一人だけの情報ではない

→親から子供へと引き継がれるもの